No. 1

事務事業名			健	康と	文化の	の森敷	· 備事業	生費		担	部語		都市整	備部西	北部総	合整備	事務所
										当課	新部	課名					
予算科目コード	会計 01	款	09	項 04	4 目	01 細	目 006	説明	01	示	課等	の長	八文写	三 弘行	電話	6	542
 1. 事業概要																	
事業開始年度	昭和	6	51	年度	終了	(予定)年	度	未定	年度	事業(の性質			任意自	治事務	务	
事業概要	駅周辺 を推進	部市拠点の一つである健康と文化の森地区は、いずみ野線延伸の計画において新駅設置が想定されており、その新駅周辺について「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、新たに創出する都市拠点にふさわしいまちづくりを推進する。															
事業目的 及び 必要性	術•研究	健康と文化の森地区は、いずみ野線延伸の計画で新駅設置が想定されており、田園空間に囲まれた環境のもと、学術・研究、活力増進機能の創出、良好な居住環境の整備など、本市の新たな都市拠点にふさわしい環境共生都市の構築をめざし、新たな都市機能の集積を図っていく必要がある。															
対象	1. 個力	1. 個人 市民									4	35,121	人				
根拠法令等																	
事業実施 手法 (該当する もの全てに チェック)	■ 委	■ 委託・指定管理 (委 託 先 : 昭和株式会社) (委託等内容 : まちづくりの事業化に向けた検討等) □ 補助金・負担金 (:)															
		- 10	沢市市	市政道	運営の	総合	旨針20:	20						- //			,
		点施贸	6名						系コード					の他の記			
			5-1-	121			健康と文化の森地区は「藤沢市都市マスクプラン」において都市拠点の一つに位置でられているほか、いずみ野線延伸の計画において新駅設置が想定されている。			置づけ							
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」																	
市民意識調査	市民意識調査における質問項目 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度					度											
駅をはじめとす	る拠点の	の整備	帯につ	いて	_			2.94	点	_	2.98	点		2.98	点	3	3.03 点
								ار	点			点		,	点		点

	事業費節別内訳					
令和2年度	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容			
支出済額	役務費	2,418 千円	健康と文化の森地区仮設調整池 維持管理費 等			
	委託料	47,549 千円	まちづくり事業化推進業務委託,地質調査,境界測量			
81,425	工事請負費	31,458 千円	健康と文化の森地区浸水対策 雨水排水管築造工事			
千円						
【参考】	事業費節別内訳					
令和3年度	費目	予算額 (千円)	主な事業内容			
予算額	役務費	2,550 千円	健康と文化の森地区仮設調整池 維持管理費			
	委託料	80,751 千円	まちづくり事業推進業務委託			
83,301						
83,301 ∓⊓						

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

1 155 1 5 14: 154 1: 0 1545 C 554 (1=) 154 15 (1=)					
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
常時勤務職員※	4.70	3.50	4.00	2.85人工	
短時間勤務職員(再任用•任期)	0.00	0.00	0.00	0.00人工	
非常勤職員	0.00	0.00	0.00		
合計	4.70人工	3.50人工	4.00人工	2.85人工	

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	/	0.60人

3. 事業実施内容•成果

令和2年度 事業実施 内容

都市拠点の一つである本地区では、いずみ野線延伸の計画において関係者間で合意された新駅(B駅)の概ねの位置 等を踏まえつつ、都市拠点としてのまちづくりを進めるため、「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、地権 者組織と連携しながらまちづくりの検討を進めるとともに現地調査等を行った。 また、「健康と文化の森地区浸水対策 基本計画」に基づき、雨水管の整備を行った。

成	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
	1日 1末 1日	+12	目標値	目標値	目標値	目標値	I/HI · 7
	まちづくりを検討する区域	ha	100	100	100	80	
果	市街化区域への編入	ha	44	44	44	44	
目標							
示	参 考						
		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
· T	指 標 名		実績値	実績値	実績値	実績値	備考
活動	委員会,検討部会及び地元協議会の	П	1	1	1	1	
実	開催回数	ഥ	1	1	1	1	
績	地権者及び地域住民への説明会		5	8	11	13	
	指 標 名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
<u> -</u>	まちづくりを検討する区域	ha	100	100	100	80	
以 里	市街化区域への編入	ha	44	44	44	44	
成果実							
	数値で表せない効果						

4. コスト分析

	年』		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		行政費用(フルコスト) A	96,895	66,727	115,896	108,118
		(1)現金を伴う支出 (千円)	95,716	70,848	114,355	111,603
		事業費(支出済額)	50,283	37,121	75,465	81,425
		償還金利子	0	0	15	40
	+	人件費合計(①+②+③)	45,433	33,727	38,875	30,138
	支	①常時勤務職員等の給与等	43,329	32,085	36,564	27,269
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	1,327
	出	③退職金相当額	2,104	1,642	2,311	1,542
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,179	-4,121	1,541	-3,485
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	1,179	-4,121	1,541	-3,485
ス		③不納欠損額	0	0	0	0
۲		④その他()	0	0	0	0
		行政収益(事業収入) B	0	0	33,100	11,000
	収	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	33,100	11,000
		①分担金及び負担金 c	0	0	0	0
		②使用料及び手数料 □	0	0	0	0
	- 1	③国庫支出金	0	0	0	11,000
	入	④県支出金	U	0	0	U
		⑤その他(健康と文化の森整) 備事業債	0	0	33,100	0
		(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0
		収入未済増減額	0	0	0	0
	収支差	e額(純費用)A-B E	96,895	66,727	82,796	97,118
分	項目	まちづくりを検討する区域 _	100 単位	100 単位	100 単位	80 単位
析		F	100 ha	667.070.00	1 150 060 00	ha
指		あたりの総費用 A/F (円)	968,950.00 226.65 427,501	667,270.00 155.43 429,317	1,158,960.00 191.19 433,060	1,351,475.00 223.20 435,121
標		人あたりの負担額 E/人口 (円) 計負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00
¾ 1		 貝担学 				

- ※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は,支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額
- ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
- ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

<u>-</u> _	71777 A C 12 1 1 1 1 1	・ イエ この 休 透 こ 休 透 片 が の れ 恒
(1) 令和元年度末時点 の課題	引き続き地権者協議会を通じて地権者と意見交換を行いながら,事業実施に向けて取組を進めていく必要がある。また,土地利用計画や事業費・減歩率等の提示が求められており,令和元年度の成果等をふまえ,より精度の高い検討を行う必要がある。 浸水対策については,引き続き,検討した内容の実現化が必要であり,新たな雨水調整施設を整備する必要がある。
(2		事業実施に向けて、組合施行による土地区画整理事業を前提とした土地区画整理準備会が設立されるとともに、より精度の高い検討を行うため事業化検討パートナーを選定し、慶應義塾大学や民間企業と連携しながら、土地利用計画などの具体的な検討を行った。 浸水対策については、雨水管の整備を行った。また、新たな雨水排水管の検討を進めた。
(3	ご の課題	土地利用計画の検討に当たり、いずみ野線延伸における鉄道敷位置、開業目標時期が示されていない。また、土地区画整理準備会の運営において、権利者をはじめとする関係者間において十分な意見交換を行う必要があるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定に基づく会議開催が困難な状況にある。 浸水対策については、引き続き、検討した内容の実現化が必要であり、新たな雨水調整施設を整備する必要がある。
(2	(3)解決のための	いずみ野線延伸については、担当部局と協議を進める。また、土地区画整理準備会における会議開催については、対面形式の会議を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況により適宜オンライン会議の導入を検討する。 浸水対策については、引き続き、まちづくりと併せた新たな雨水調整施設の検討を進める。

	① 法的	的根拠
	0	ア=法令等の根拠はないが,市の裁量により実施するもの(イ~オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により,事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
(1)	②事業	美実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)
事	<u> </u>	ア=国, 県, 他自治体や民間等も, 市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国, 県, 他自治体等も, 市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが, 一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し, よりよい生活環境の実現, 地域の発展, 市民生活の向上を目的とするもの
業の		イ=国,県,他自治体等も,市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
性	 	ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが, 一部のサービスは本市のみが提供しているもの
質	0	エ=本市のみがサービスを提供し,よりよい生活環境の実現,地域の発展,市民生活の向上を目的とするもの
^		オ = 本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・催保、市民の権利維持・女主催保を目的とするもの
	③ 事	業期間
	 <u>-</u>	ア=恒久的に実施するもの
	0	イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で,終了まで5年以上あるもの
		エ=時限的に実施する事業で、今後2~4年で終了するもの
	(1	オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	4) 事	業費…令和2年度支出済額
		ア=300,000千円以上
	0	イ=100,000千円以上~300,000千円未満
	<u>-</u>	ウ=30,000千円以上~100,000千円未満 エー5,000千円以上~30,000千円未満
		エ=5,000千円以上~30,000千円未満 オ=5,000千円未満
(2)	⑤ —f	段財源比率…事業費に占める一般財源の割合
財	<u> </u>	ア=80%以上
政	<u>-</u>	イ=50~80%未満
的な		ウ=30~50%未満
特		エ=10~30%未満
徴		オ=10%未満
1-24	⑥ 固2	定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合
		ア=10%未満
	0	イ=10~30%未満
	<u> </u>	ウ=30~50%未満
	 	エ=50~80%未満
		才=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

<u>- 7</u>		で、「「「「「「「「」」」				
社会情勢等	ンパス他が市街化区域に即時編入されるとともに、本地区を含む周辺地域が、市街化区域編入の候補地である新市街地ゾーンに 設定された。					
他市等の事例	市 等 の あ					
	把握方法	遠藤まちづくり推進協議会 1回 健康と文化の森地区まちづくり検討協議会 2回 健康と文化の森地区まちづくり検討協議会実務委員会 2回 健康と文化の森地区土地区画整理準備会 2回 健康と文化の森地区土地区画整理準備会役員会 7回				
市民ニーズ	把握内容	市街化区域への編入を含めたまちづくりを早期に進めてほしい。 事業実施に向け,事業の仕組みなどの情報を提供してほしい。 浸水被害の軽減のため,早期に対策してほしい。				
	対応等	まちづくりの実現に向けて検討を進める。 市街化区域への編入に向けた協議・調整を進める。 土地区画整理準備会との協議を複数回実施する。 雨水調整施設等の整備により浸水対策を進める。				

8. 事務事業の評価と今後の方針

事業実施に向けて地権者組織である土地区画整理準備会が設立されるとともに事業化検討パートナーが選定され、まちづくりの実現に関する検討を行うなど進捗が図られた。また、浸水対策については「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づいた雨水排水管の整備を行ったことにより事業の進捗が図られた。

_		
E	a	ı
	П	Г
1		-
и	п	ī

方針

まちづくりテーマ	⑤ 都市の機能と活力を高める
事業の方向性	現状維持

組合施行による土地区画整理事業の実施に向け、いずみ野線延伸計画を見据えるとともに、慶應義塾大学や事業化検討パートナーと連携しながらまちづくりの具体的な検討を行い、事業実施に向けた取組を進めるほか、市街化区域への編入に向けた協議・調整を進める。併せて、健康と文化の森地区の浸水対策を進める。

 T 100 T 2	KUTTUTE OF COM TO WITHOUT I							
業務記		業務見直しの視点等						
走書No.		英(() (/) [1] [2]	業務効率改善 の可能性	リスク影響度 I	リスク影響度Ⅱ			
8	健康と文化の森まちづくり計画に関すること	無	無	1				
11	市街化区域編入手続きに関すること	無	無	1				

※リスク影響度 I・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。 ※リスク影響度 II・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川﨑 隆之	確認日	2021/8/31	
----	-------	----	-------	-----	-----------	--

No. 2

事務事業名	健康と文化の森整備事業費(繰越分)							部 担		名 都市整備部西北部総合整備事務所						
争伤争未有	健康と文化の林笠州事未賃(深趣力)		当課	新部語	課名											
予算科目コード	会計 01	款 09	9 項	04 目	01 細	目 006	説明	01	・詳・	課等の	の長	八文字	弘行	電話	6542	2
. 事業概要						•	•		•		'					
事業開始年度	昭和	61				度令和	2			D性質				治事務		
事業概要	都市拠点の一つである健康と文化の森地区は、いずみ野線延伸の計画において新駅設置が想定されており、その新駅周辺について「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき、新たに創出する都市拠点にふさわしいまちづくりを推進する。															
事業目的 及び 必要性	及び 築をめざし、新たな都市機能の集積を図っていく必要がある。															
対象	1. 個人		市民	ì										435	5,121	人
根拠法令等			ļ													
事業実施	■ 直担	妾実施														
手法	□ 委請	 毛•指定	管理	(委託	先 :)
(該当する もの全てに				(委託四	內容 :)
チェック)		助金・負 D他	1担金	(:)
	□ その	. 10	古古政	· ょ)松仝‡	旨針202	·O)
	重点	た施策名		.连占v	ノ心ロゴ	日业1202		系コード				その	他の計	画との関	関連	
関連の深いに	5.民生治	モノニ関で	よろ音		 					ì	プラン られて	」において	て都市扱, いずみ	u点の一 y野線延	i都市マス つに位置 伸の計画 いる。	づけ
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」 市民意識調査における質問項目				平成	29年度	म	成30	 0年度		令和元	 ;年度	f	和2年度			
	におけん	る質問	項目		駅をはじめとする拠点の整備について) F
市民意識調査							2.94	点		2.98	点		2.98 点	Ĩ,	3.03	5 K
市民意識調査				<u> </u>				点			点点		2.98 点点		3.03	点
市民意識調査				C											3.03	
市民意識調査駅をはじめとす	る拠点の	D整備は 業費節短	こついて				١	点					点	Ĩ	3.03	
市民意識調査駅をはじめとす	る拠点の)整備(業費節)	こついて 別内訳 費 目			支出犯	<i>,</i> 斉額 (千	·円)		,	点		事業内:	容	3.03	
市民意識調査駅をはじめとす	る拠点の	D整備は 業費節短	こついて 別内訳 費 目			支出》	<i>,</i> 斉額 (千	·円)	(仮	,	点	主なる公園造	事業内:	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額	る拠点 <i>0</i> 事 工)整備(業費節)	こついて 別内訳 費 目			支出犯	<i>,</i> 斉額 (千	·円)	(仮	,	点		事業内:	容	3.03	
市民意識調査駅をはじめとす	る拠点 <i>0</i> 事 工)整備(業費節)	こついて 別内訳 費 目			支出液	<i>,</i> 斉額 (千	·円)	(仮	,	点		事業内:	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額 84,0	る拠点 <i>0</i> 事	文整備 (2) 整備 (2) 整确 (2) 整備 (2)	こついる 別内訳 費 重			支出	<i>,</i> 斉額 (千	·円)	(仮	,	点		事業内:	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額	る拠点の 事 79 千円 事	文整備的 業費節別 事請負別	こついる 別内訳 費 重	1			<i>,</i> 斉額 (千	·円) 79 千円	(仮え	,	点	谷公園造	事業内:	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額 84,0	る拠点の 事 79 千円 事	文整備的 業費節別 事請負別	別内訳費を関われている。	1			斉額 (千 84,0	·円) 79 千円	(仮	,	点	谷公園造	事業内定成他工	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額 84,0 【参考】 令和3年度	る拠点の 事 79 fm 事	文整備的 業費節別 事請負別	別内訳費を関われている。	1			斉額 (千 84,0	·円) 79 千円	(仮)	,	点	谷公園造	事業内定成他工	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額 84,0 【参考】 令和3年度	る拠点の 事 79 千円 第	文整備的 業費節別 事請負別	別内訳費を関われている。	1			斉額 (千 84,0	·円) 79 千円	(仮	,	点	谷公園造	事業内定成他工	容	3.03	
市民意識調査 駅をはじめとす 令和2年度 支出済額 84,0 【参考】 令和3年度	る拠点の 事 79 fm 事	文整備的 業費節別 事請負別	別内訳費を関われている。	1			斉額 (千 84,0	·円) 79 千円	(仮)	,	点	谷公園造	事業内定成他工	容	3.03	

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

_ <u>· </u>				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※				0.45人工
短時間勤務職員(再任用・任期)				0.00人工
非常勤職員				
合計	0.00人工	0.00人工	0.00人工	0.45人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み.会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

令和2年度 事業実施 内容

3. 事業実施内容・成果 「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき、雨水調整施設の整備を行った。

	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
	日 1宗 1口		目標値	目標値	目標値	目標値	畑 行
成							
果							
目		ļ					
標	参 考				•		
	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
活	14 1	中心	実績値	実績値	実績値	実績値	1/用 右
動実							
積							
150		ļ					
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
成		 					
果							

績 数値で表せない効果

浸水対策基本計画に基づき、雨水調整施設を整備したことにより、地区内の道路冠水を軽減させることができた。

4 コスト分析

実

Ť <u>. –</u>	<u> 人下分</u>					
	年「	度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		行政費用(フルコスト) A			0	90,026
		(1)現金を伴う支出 (千円)			0	88,668
		事業費(支出済額)				84,079
		償還金利子				40
	+	人件費合計(①+②+③)			0	4,549
	支	①常時勤務職員等の給与等				4,306
		②会計年度任用職員の報酬等				0
	出	③退職金相当額				243
		(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	1,358
		①減価償却費				0
\Box		②退職給与引当金繰入額				1,358
ス		③不納欠損額				0
۲		④その他()				0
		行政収益(事業収入) B			0	69,184
	収	(3)現金を伴う収入 (千円)			0	69,184
		①分担金及び負担金 c				0
		②使用料及び手数料 D				0
	48	③国庫支出金				29,784
	入	④県支出金				0
		⑤その他(健康と文化の森整) 備事業債				39,400
		(4)現金を伴わない収入 (千円)			0	0
		収入未済増減額				0
	収支差	差額(純費用)A-B E			0	20,842
分	項目	_	_	_	単位	単位
析		F F				
指		zあたりの総費用 A/F (円)	-	-	-	-
指標		人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00 427,501	0.00 429,317	0.00 433,060	47.90 435,121
15.70	党益 者	皆負担率 (C+D)/A (%)	=	-	=	0.00

- ※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

∪ <u>.</u>	ナルナルとといく	0~11~00杯返こ杯返所次の状態
(1) 令和元年度末時点 の課題	浸水対策について、検討した内容の実現化が必要であり、新たな雨水調整施設を整備する必要がある。
((1)解決の ための 2) 令和2年度の 取組	まちづくりと併せた新たな雨水調整施設の検討を進めた。また、遠藤笹窪谷に雨水調整施設を整備した。
(3) 令和2年度末時点 の課題	引き続き、検討した内容の実現化が必要であり、新たな雨水調整施設の整備が必要である。
((3)解決の ための 今後の 取組	まちづくりと併せた新たな雨水調整施設の整備を進める。

		木の竹塚
	① 法	的根拠
	0	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ~オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により,事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
(1)	②事	業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)
事	<u></u>	ア=国,県,他自治体や民間等も,市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
業の		イ=国, 県, 他自治体等も, 市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
の性		ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが, 一部のサービスは本市のみが提供しているもの
質	0	エ=本市のみがサービスを提供し,よりよい生活環境の実現,地域の発展,市民生活の向上を目的とするもの
	0	オ=本市のみがサービスを提供し,生活基盤の維持・確保,市民の権利維持・安全確保を目的とするもの
	③ 事	業期間
		ア=恒久的に実施するもの
		イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で,終了まで5年以上あるもの
		エ=時限的に実施する事業で,今後2~4年で終了するもの
	0	オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	4)事	業費…令和2年度支出済額
		ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上~300,000千円未満
	0	ウ=30,000千円以上~100,000千円未満
		工=5,000千円以上~30,000千円未満
(2)		才=5,000千円未満
財	<u>⑤</u> –	般財源比率…事業費に占める一般財源の割合
政		ア=80%以上
的		イ=50~80%未満
な	ļ <u>.</u>	ウ=30~50%未満
特	0	エ=10~30%未満
徴	<u> </u>	オ=10%未満
		定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合
	0	ア=10%未満
		イ=10~30%未満
		ウ=30~50%未満 エ=50~80%未満
	ļ	
		才=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 🗄	事務事業を取り	J巻<環境の現状と今後の予測
社会情勢等	健康と文化の系策を進める必要	条地区は,豪雨時に浸水被害が発生しており,「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき,早急に浸水対
他市等の事例		は確認できない。
	把握方法	市民からの聞き取りを実施した。
市民ニーズ	把握内容	浸水被害の軽減のため,早期に対策してほしい。
		雨水調整施設等の整備により浸水対策を進める。

8. 事務事業の評価と今後の方針

対応等

評価	「健康と文化の森地区浸水対策基本計た。	一画」に基づき、遠藤笹窪谷に雨水調整施設の整備を行ったことにより事業の進捗が図られ
	まちづくりテーマ	⑤ 都市の機能と活力を高める
	事業の方向性	休止•廃止•完了
	健康と文化の森地区の浸水対策を進め	める。
今後		
の方針		
針		

- <u>-</u>	3 3 3 3 3 7	たいがいいとのバミッと多無チを未初起進 自			
	業務記		業務見直し	」の視点等	
	未務記 述書№.		業務効率改善 の可能性	リスク影響度 I	リスク影響度Ⅱ

※リスク影響度 I・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。 ※リスク影響度 II・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

1<u>0. 部長確認欄</u>

	部名	都市整備部	氏名	川﨑 隆之	確認日	2021/8/10
--	----	-------	----	-------	-----	-----------

No. 6

事務事業名		健	康の柔	5.保子	上面出	上敷	備事業	生		担	部詞	果名	都市整備		上部総合	整備事	務所
子切于木山		Æ	13K V J AV	トレトコ	ETT	LÆ.	州尹木	7.只		当課	新部	課名					
予算科目コード	会計 01	款 09	項 0	4 目	01	細目	006	説明	05	本	課等	の長	八文字	弘行	電話	654	12
. 事業概要																	
事業開始年度	開始年度 平成 26 年度 終了(予定)年			年度	,	未定	年度 :	事業の	の性質		,	任意自	治事務				
事業概要	健康の森では、本市に残された貴重な谷戸環境を保全しつつ、医療施設等の立地及び里山の保全再生とあわせ地域活性化に資する施設の整備を図るため、平成23年度に基本計画を策定し、平成24年度より里山保全再生事業を進めている。																
事業目的 及び 必要性	及び																
対象	1. 個人		市民												435	,121	人
根拠法令等																	
事業実施	■ 直接	接実施															
争未关旭 手法	■ 委託	£•指定管	 管理	(委言	托 岁	는 : k	en's Hou	ıse株式	会社	等)
(該当する				(委託等	等内:	容:(仮称)遠	藤笹窪	公公	園トイレ	等新	築に伴う設	計委託	等)
もの全てに チェック)	□ 補助	力金・負担	旦金	(:)
テエック)	■ その)他		(仮	建康の	森4	\益的市	万民活動	交付金)
		藤沢市	市政道	運営σ)総合	ì指釒	12020)					7.0	/IL	T L A B	B *±	
	重点	施策名						指針体	系コード			1	その	他の計	画との関	建	
自然との共生に向けた環境保全の推進・エネル ギーの地産地消の推進				5-	-3-1	1				市はディン「藤物	業は「藤沢 点「健康と」 「ふじされ」 グプロジョ で市生物多 後性を守 付けている	文化の系 緑の基 ェクトの- ・様性地 守るため	集」に位置 本計画」 一つとして 域戦略」	置付けて における こいる。 言 において	いる 5リー また, ても,		
関連の深い「オ	5民生活	に関す	る意識	調査	結果_	ı .									ī		
市民意識調査における質問項目					平成2	9年度	3	F成3	0年度		令和元	年度	令	和2年原	隻		
緑地や樹木など	ごの緑の	保全に~	ついて					3.04 点	į.		3.01	点		3.02 点		3.1	13 点
								Æ	気			点		点			点

	事業費節別内訳		
令和2年度	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
支出済額	需用費•役務費	3,926 千円	健康の森管理用地柵等修繕・健康の森竹伐採等作業 等
	委託料	7,962 千円	(仮称)遠藤笹窪谷公園トイレ等新築に伴う設計委託 等
32,197	使用料及び賃借料	1,902 千円	土地賃借料
千円	工事請負費	15,917 千円	健康の森排水管整備工事(汚水分)
	負担金補助及び交付金	2,490 千円	NPO法人藤沢サンクチュアリ 等
【参考】	事業費節別内訳		
令和3年度	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
予算額	需用費	1,300 千円	健康の森用地管理施設修繕
	役務費	2,126 千円	健康の森樹林地管理作業 等
8,036	使用料及び賃借料	2,110 千円	土地賃借料
千円	負担金補助及び交付金	2,500 千円	市民活動団体等からの提案活動交付金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	3.40	2.50	1.60	1.80人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00人工
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	
合計	3.40人工	2.50人工	1.60人工	1.80人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				0.00人
---------------	--	--	--	-------

事業実施内容·成果

令和2年度 事業実施 内容

市内三大谷戸の一つである遠藤笹窪谷を有する健康の森(遠藤笹窪緑地)の保全と活用を図るため、「遠藤笹窪緑地 保全計画」に基づき,市民活動団体等との協働による緑地の保全及び再生を行った。また,地域活性化に資する公園 施設の整備の進捗が図られた。

	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考	
	指标位	中世	目標値	目標値	目標値	目標値	1佣 行	
成	緑地保全面積	ha	24.3	24.3	24.3	24.3		
果	健康の森里山保全・再生管理面積	ha	5.6	5.6	4.6	4.6		
目								
標	参 考							

	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
活動	11 1	中心	実績値	実績値	実績値	実績値	1佣 右
動実	保全活動団体活動回数	回	99	88	103	94	
績							
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
<u>+</u>	緑地保全面積	ha	実績値 14.2	14.2	22.2	22.2	備考
成里	緑地保全面積 健康の森里山保全・再生管理面積	ha ha	14.2 5.6	14.2 5.6	22.2 4.6	22.2 4.6	備考
成果実	緑地保全面積	ha	14.2	14.2	22.2	22.2 4.6	備考

績 |数値で表せない効果

健康の森基本計画を実現するために,市民活動団体等との協働による里山保全・再生事業を行い,谷戸環境の保全が図られた。また,公園施設の一部を整備し,進捗が図られた。

4. コスト分析

	年』	变	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		行政費用(フルコスト) A	62,971	48,748	21,950	52,549
		(1)現金を伴う支出 (千円)	64,837	51,825	24,648	51,951
		事業費(支出済額)	29,268	25,407	7,149	32,197
		償還金利子	2,702	2,327	1,949	1,558
	支	人件費合計(①+②+③)	32,867	24,091	15,550	18,196
	又	①常時勤務職員等の給与等	31,345	22,918	14,626	17,222
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	出	③退職金相当額	1,522	1,173	924	974
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,866	-3,077	-2,698	598
		①減価償却費	0	0	0	0
ス		②退職給与引当金繰入額	-1,866	-3,077	-2,698	598
 		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他()	0	0	0	0
		行政収益(事業収入) B	17,066	0	0	0
		(3)現金を伴う収入 (千円)	17,066	0	0	0
		①分担金及び負担金 c	0	0	0	0
	収	②使用料及び手数料 D	0	0	0	0
	入	③国庫支出金	0	0	0	0
	人	④県支出金	17,000	0	0	0
		⑤その他(みどり基金繰入金)	17,066	0	0	0
		(4)現金を伴わない収入 (千円) 収入未済増減額	0	0	0	0
	四支美	E額(純費用)A-B E	45,905	48,748	21,950	52,549
			単位	単位	単位	単位
分	項目	健康の森里山保全・再生管理面積 _F	5.6 ha	5.6 ha	4.6 ha	4.6 ha
析	1単位	あたりの総費用 A/F (円)	11,244,821.43	8,705,000.00	4,771,739.13	11,423,695.65
指		人あたりの負担額 E/人口 (円)	107.38 427,501	113.55 429,317	50.69 433,060	120.77 435,121
標		首負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00
№ 1		貝担学 				

- ※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は,支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

- ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

()	t年度末時点 の課題	特別緑地保全地区指定後の緑地全体の維持・管理の役割分担について、谷戸底部に予定している地域活性化に資する公園施設の整備スケジュールを加味しながら、関係各課と決める必要がある。
(2)	i)解決の ための 和2年度の 取組	引き続き, 関係各課との協議を進め, 維持管理手法を明確にするとともに, 保全活動が持続するための担い手の確保について, 新たな手法の有無等も併せて検討した。 また, 地域活性化に資する施設(都市公園)の整備を進めると同時に, 公園施設の維持管理手法等についても 庁内調整を進めた。
		特別緑地保全地区指定後の緑地全体の維持管理業務について、谷戸底部に予定している地域活性化に資する公園施設の整備スケジュールを加味しながら関係各課と調整し、みどり保全課に移管するものとした。なお、詳細については引き続き協議のうえ決定する。
(4)	3)解決の ための 今後の 取組	引き続き,みどり保全課等との緑地全体の協議を進め,維持管理手法を明確にするとともに,保全活動が持続するための担い手の確保について,新たな手法の有無等も併せて検討する。また,地域活性化に資する施設(都市公園)の整備を進めると同時に,公園施設の維持管理手法等について引き続きみどり保全課と協議する。

	① 注	的根拠
	0	ア=法令等の根拠はないが,市の裁量により実施するもの(イ~オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
(4)		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
(1)	②事	業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)
事業		ア=国, 県, 他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国, 県, 他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの
一の		イ=国,県,他自治体等も,市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
性		ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが, 一部のサービスは本市のみが提供しているもの
盲	0	エ=本中のみがサービスを促供し、よりよい生活環境の美境、地域の発展、中氏生活の同工を目的とするもの
		オ=本市のみがサービスを提供し,生活基盤の維持・確保,市民の権利維持・安全確保を目的とするもの
	③ 事	業期間
		ア=恒久的に実施するもの
	0	イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で,終了まで5年以上あるもの
		エ=時限的に実施する事業で,今後2~4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	4 事	業費…令和2年度支出済額
		ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上~300,000千円未満
	0	ウ=30,000千円以上~100,000千円未満
		工=5,000千円以上~30,000千円未満
(0)		才=5,000千円未満
(2)		般財源比率…事業費に占める一般財源の割合
財政	0	ア=80%以上
的		イ=50~80%未満
な		ウ=30~50%未満
特		エ=10~30%未満
徴		オ=10%未満
	⑥ 固	定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合
		ア=10%未満
		イ=10~30%未満
	0	ウ=30~50%未満
	 	エ=50~80%未満
		才=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

<u>. ≠</u>		7色、環境の現仏とってので劇					
社会情勢等	する関心が高まっており、地域住民・自然保護団体及びNPO法人等、複数の市民活動団体が、里山の保全活動に意欲的に取り組み、「健康の森管理運営協議会」を通じて市と意見を交わし、利活用の方法を検討している。						
他市等の事例	舞岡公園(横海 新治の森(横海 県立座間谷戸						
	把握方法	地域住民,自然保護団体及びNPO法人で構成される「健康の森管理運営協議会」において,各団体の活動内容を 踏まえ,意見交換を実施した。					
市民ニーズ	把握内容	「健康の森管理運営協議会」では、自然環境を維持していくために、希少種が生息する豊かな森を保全する観点から、希少植物の生息場所を参画団体同士が認識出来る方法で保護する必要性を確認した。					
	対応等	遠藤笹窪緑地の谷戸景観は、「健康の森管理運営協議会」に参画する団体の保全活動によって維持されていることを広く知ってもらうために、また、森で過ごす楽しさを体感してもらうために、人々が訪れるきっかけづくりに取り組んでいく。また、希少種が生息する豊かな森を保全する観点から「健康の森管理運営協議会」参画団体間において、希少植物を保護するために必要な生息場所等の情報を共有する。					

8. 事務事業の評価と今後の方針

٠.	-	争伤争未の計画とう後の力可					
	評価	「健康の森管理運営協議会」による草地再生のための草刈,竹林の間伐等を実施し,里山環境の保全・再生が図られた。また,来 年度に計画しているトイレ等の新設に伴う設計委託や,公園から排水する汚水管を整備したことで,公園整備の進捗が図られた。					
		まちづくりテーマ	⑤ 都市の機能と活力を高める				
		事業の方向性	現状維持				
	今後の方針	「健康の森管理運営協議会」の参画団 り方について検討が必要である。また,	体構成員の高齢化が課題であり,自然環境の恒久的な維持・活用につながる保全活動のあ谷戸底部については,地域活性化に資する公園施設の整備を引き続き進める。				

業務記	大の	業務見直しの視点等						
走務記述書No.	具体的業務の名称	新たな委託(一 部含む)の可能 性	業務効率改善 の可能性	リスク影響度 I	リスク影響度Ⅱ			
3	西北部地域オオタカ調査等に関すること	無	無	1				
4	西北部地域オオタカ検討委員会に関すること	無	無	1				
5	西北部地域事業用地内の維持・管理・施設修 繕に関すること	有	無	2				
6	健康の森管理運営協議会に関すること	有	無	1				
7	慶應義塾大学との連携に関すること	無	無	1				
10	樹林地保全・再生管理に関すること	有	無	1				
13	行政財産目的外使用許可に関すること	無	無	1				
14	公有財産の貸付に関すること	無	無	1	1			
15	湘南慶育病院内の土地賃貸借契約に関すること	無	無	1	1			

※リスク影響度 I・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。 ※リスク影響度 II・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

No. 7

事務事業名	健康の森保全再生整備					事業費(繰越分)			担	部課名	2	都市整備部西北部総合整備事務所				
予切予 未占					当課	新部課名	名									
予算科目コード	会計 01	款	09 1	頁 04	目	01 細	■ 006	説明	05	W.	課等の	長	八文字	弘行	電話	6542
· 事業概要 事業開始年度	平成	26	2	年度	数マ	(多宁) 年	_	9	年由 3	巨坐力	マを			亿 . 会 白	公 重致	
	健康の森では、本市に残された貴重な谷戸環境を保全しつつ、医療施設等の立地及び里山の保全再生とあわせ地域 活性化に資する施設の整備を図るため、平成23年度に基本計画を策定し、平成24年度より里山保全再生事業を進め															
事業目的 及び 必要性	本市に死	残され	た貴	重な名	产理	環境や	緑地空間	の恒久的	かな保全・	利活	用を図る	00				
対象	1. 個人		Ħ	5民											435	,121 人
根拠法令等																
▍ 事業実施 ┡		任•指;	定管理		`		先 : 内容 : :)
			市市	顶運	営の	総合打	旨針202	20					エ の	ผด⊒	両しの目	日本
自然との共生に		施策					指針体系コード 5-3-11							画との関	プラン」の都	
ギーの地産地洋							市拠点「健康と文化の森」に位置付け ほか、「ふじさわ緑の基本計画」におい ディングプロジェクトの一つとしている 「藤沢市生物多様性地域戦略」におい 生物多様性を守るための重要なエリア 位置付けている。				置付けている におけるリー ている。また, においても,					
関連の深い「市					同金	洁果 <u>」</u> 【	ग ्र ⊟	29年度	1 1	_tto	0年度	T	令和元	午庄		·和2年度
				-			十八			平成30年度			サイロノし			
緑地や樹木など	(7)稼(7)	保至(۷۲۰۰۱	.,(3.01 点			3.02 点		3.13 点		
							点			点点点点				点		
令和2年度 支出済額 費目 支出済額(千円) 主な事業内容 89,484																
【参考】							Lu	there /	T1)				` `		_	
令和3年度 予算額			費	目			予算	□額(千□	刊)				主な	事業内容	卒	
0 +H																

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

· 子切子术(-IX)(/) UNXXX (IX/II/II/II/II/I								
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
常時勤務職員※				0.70人工				
短時間勤務職員(再任用・任期)				0.00人工				
非常勤職員								
合計	0.00人工	0.00人工	0.00人工	0.70人工				

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				0.00人
---------------	--	--	--	-------

3. 事業実施内容・成果

수	和2年度 事業実施 内容	歩行者 [、]	デッキの築造や電線や	晉·水道	首管の埋設等,	公園施設の部	分的な整備を行	すった。	
	指標名		煙 名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
		1月 1末 1日			目標値	目標値	目標値	目標値	ביי נאו
成									
成果目標				ļ					
垣									
175	参 考								
		t⊑	七 毎 夕		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
活動		指標名		単位	実績値	実績値	実績値	実績値)用 行
動宝									
実績									
		指	標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考

績 数値で表せない効果

地域活性化に資する公園施設の整備の進捗が図られた。

4. コスト分析

成 果 実

<u>+. –</u>	ヘトガ	171				
	年 5		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		行政費用(フルコスト) A			0	100,231
		(1)現金を伴う支出 (千円)			0	98,119
		事業費(支出済額)				89,484
		償還金利子				1,558
	支	人件費合計(①+②+③)			0	7,077
	X	①常時勤務職員等の給与等				6,698
		②会計年度任用職員の報酬等				0
	出	③退職金相当額				379
		(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	2,112
		①減価償却費				0
		②退職給与引当金繰入額				2,112
ス		③不納欠損額				0
۲		④その他 ()			_	0
	収	行政収益(事業収入) B			0	89,400
		(3)現金を伴う収入 (千円)			0	89,400
		①分担金及び負担金 c				0
		②使用料及び手数料 □				38,000
		③国庫支出金 ④県支出金				38,000
	入					0
		⑤その他(健康の森保全再) 生整備事業債)				51,400
		(4)現金を伴わない収入 (千円)			0	0
		収入未済増減額				0
	収支差	E額(純費用)A-B E			0	10,831
厶					単位	単位
分析	項目	F				
指		あたりの総費用 A/F (円)				
標		人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00 427,501	0.00 429,317	0.00 433,060	24.89 435,121
127	受益者	首負担率 (C+D)/A (%)	-	_	-	0.00

^{※1} 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

 ,	33 7 77 - 7	マイエでが形成と形成が行うできた。
(1)	令和元年度末時点の課題	地域活性化に資する施設(都市公園)の整備を進めると同時に,公園施設の維持管理手法等についても庁内 調整を進める。
(2)		地域活性化に資する施設(都市公園)の整備の進捗が図られ,公園施設の維持管理手法等について庁内調整を進めた。
(3)	令和2年度末時点 の課題	特別緑地保全地区指定後の緑地全体の維持管理業務について、谷戸底部に予定している地域活性化に資する公園施設の整備スケジュールを加味しながら関係各課と調整し、みどり保全課に移管するものとした。なお、詳細については引き続き協議のうえ決定する。
(4)	(3)解決の	引き続き,みどり保全課等との緑地全体の協議を進め,維持管理手法を明確にするとともに,保全活動が持続するための担い手の確保について,新たな手法の有無等も併せて検討する。 また,地域活性化に資する施設(都市公園)の整備を進めると同時に,公園施設の維持管理手法等について引き続きみどり保全課と協議する。

	① 注	的根拠
	<u> </u>	
	0	ア=法令等の根拠はないが,市の裁量により実施するもの(イ~オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
(1)	②事業	美実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)
事業		ア=国,県,他自治体や民間等も,市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
まの		イ=国, 県, 他自治体等も, 市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
性		ウ=国, 県, 他自治体等も同種のサービスを提供しているが, 一部のサービスは本市のみが提供しているもの
質	0	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの
		オ 三本市のみかサービスを提供し、生活基盤の維持・健保、市民の権利維持・女生健保を目的とするもの
	③ 事	業期間
		ア=恒久的に実施するもの
		イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で,終了まで5年以上あるもの
	ļ	エ=時限的に実施する事業で,今後2~4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	4 事	業費···令和2年度支出済額
		ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上~300,000千円未満
	0	ウ=30,000千円以上~100,000千円未満
		工=5,000千円以上~30,000千円未満
(0)		オ=5,000千円未満
(2) 財	⑤ - :	般財源比率…事業費に占める一般財源の割合
政		ア=80%以上
的		イ=50~80%未満
な		ウ=30~50%未満
特	<u>.</u>	エ=10~30%未満
徴		才=10%未満
	⑥ 固	定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合
	ļ <u>.</u>	ア=10%未満
	0	イ=10~30%未満
	 	ウ=30~50%未満
	 	エ=50~80%未満
		才=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
4. 施設等整備	

7 <u>. </u>	事務事業を取り	J巻く環境の現状と今	後の予測			
社会情勢等	遠藤笹窪緑地は、かつて人の手で維持、活用されていた里山環境であったが、人の生活との関わりが薄れ、従来の利用価値を失い荒廃が進んでいた。近年では、身近な自然環境の保全や、地域活性化資源としての利活用の観点から、里山の保全・再生に対する関心が高まっている。					
他市等の事例	県立座間谷戸山公園(神奈川県)					
	把握方法	記載する内容なし。				
市民ニーズ	把握内容	記載する内容なし。				
	対応等	記載する内容なし。				
8. 🖣		西と今後の方針				
評価		資する公園施設の一部	が整備され,進捗が図られた。			
	まちづくりテーマ		⑤ 都市の機能と活力を高める			
	事業の方向性		休止·廃止·完了			
<u></u>		資する公園施設の整備	どりされて延める。			
今後の方針						

- <u>-</u>	3 3 3 3 3 7	たいがいいとのバミッと多無チを未初起進 自					
	業務記述書No.		業務見直しの視点等				
				業務効率改善 の可能性	リスク影響度 I	リスク影響度Ⅱ	

※リスク影響度 I・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。 ※リスク影響度 II・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

1<u>0. 部長確認欄</u>

	部名	都市整備部	氏名	川﨑 隆之	確認日	2021/8/10
--	----	-------	----	-------	-----	-----------